

山江村及び山江村鳥獣被害防止対策協議会における鳥獣被害防止計画への達成状況について

事業実施主体名 (協議会)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	第三者の意見
										被害金額(千円)			被害面積 (h a)				
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		
山江村 (山江村鳥獣被害 防止対策協議会)	山江村	R2～R4	イノシシ ニホンジカ サル アナグマ カラス類 カワウ	緊急捕獲 緊急捕獲 緊急捕獲 緊急捕獲 緊急捕獲	イノシシ 1,031頭 シカ 2,431頭 サル 51頭 アナグマ 247頭 カラス 17羽	山江村			イノシシ R2:169頭 R3:336頭 R4:526頭 ニホンジカ R2:662頭 R3:817頭 R4:952頭 サル R2:8頭 R3:12頭 R4:31頭 アナグマ R2:74頭 R3:84頭 R4:89頭 カラス R2:6羽 R3:4羽 R4:7羽	182	1342	-537.4%	0.74	1.19	39.2%	捕獲実績は年々上がっている が被害面積、被害金額は増加 傾向にある。その要因とし て、鳥獣被害の現状をより把 握できたことが一因と考え る。また、住民の鳥獣への意 識が高まり、農作物の被害状 況を報告していただけるよう になった。この二つが被害金 額、被害面積が増加した原因 と考える。 捕獲隊員の高齢化が顕著であ り、今後の育成や捕獲活動が 懸念されるため、引き続き若 者や住民に対して、広く周知 を行いたい。	・農作物被害の軽減のため、 緊急捕獲に取り組み、近年 捕獲数は増加している。 ・しかしながら、被害額は現 状値、目標値を大きく上回っ ている。 ・このため、引き続き、緊急 捕獲頭数を増やす等鳥獣被害 防止対策に取り込んでいく必 要がある。 (熊本県南広域本部球磨地 域振興局農業普及・振興課 参事 光永良和)
										395	1122	-269.0%	0.31	1.24	-675.0%		
										81	192	-37.0%	0.17	0.29	33.3%		
										36	114	-110.8%	0.01	0.02	50.0%		
										0	47	-261.5%	0	0.02	-100.0%		
										計694	計2,817	計-316.3%	計1.23	計2.76	計-43.0%		
山江村鳥獣被害防 止対策協議会	山江村	R2～R4	イノシシ ニホンジカ サル アナグマ カラス類 カワウ	侵入防止柵 侵入防止柵	WM柵 L=2,070m 電気柵 (5段) L=5175m	山江村 鳥獣被 害防止 対策協 議会	R3～R4	侵入防止柵 100%	・電気柵、防護ネットの設置によるシ カ、イノシシ等の被害の減少	182	1342	-537.4%	0.74	1.19	39.2%	R4年度に鳥獣被害が多く、ま た、被害農家からも多くの声 が伝わるようになったため、 被害金額、面積ともに増加し た。整備事業を行った場所に 関しては被害は出ていないた め、今後の侵入防止柵等の整 備事業により、被害を食い止 めることが必要であると見え る。	・農作物被害の軽減のため、 令和3年度から侵入防止柵の 設置を実施。 ・その結果、侵入防止柵設置 地区では農作物被害防止でき ているが、山江村全体では被 害額が現状値、目標値を大き く上回っている。 ・このため、引き続き、鳥獣 被害防止対策に取り込んでい く必要がある。 (熊本県南広域本部球磨地 域振興局農業普及・振興課 参事 光永良和)
										395	1122	-269.0%	0.31	1.24	-675.0%		
										81	192	-37.0%	0.17	0.29	33.3%		
										36	114	-110.8%	0.01	0.02	50.0%		
										0	47	-261.5%	0	0.02	-100.0%		
										計694	計2,817	計-316.3%	計1.23	計2.76	計-43.0%		